

「新市場創造プラン」 (仮称)
～戦略分野への集中的な資源投入に向けて～

策定方針 (案)

平成20年11月28日

二階議員提出資料

「新市場創造プラン」(仮称)の策定方針 <総論>

問題意識

- 世界的な経済低迷の中、今こそ、将来を見据えて攻めに転じるとき。
政策メニューは、本年9月閣議決定の「新経済成長戦略」や2度の経済対策で提示。
- 次のステップは、戦略の実行に当たって、**どういった分野に、どのような形で官民の資源を集中投入し、アクセルを踏んでいくか、羅針盤を提示すること。**

検討のフレームワーク

- 戦略分野は、今後伸びゆく分野や、経済社会のボトルネック分野。**
【柱】
 - ・リーディング産業等先端分野の再構築(電池、省エネ、新エネ、水、iPS、ロボット、ITなど)
 - ・内需型産業・地域産業分野の再生(医療・介護・保育、農業、観光など)
 - ・ジャパンプランドの発信(コンテンツ、ファッションなど)
- 分野ごとに**目指すべき将来の経済・社会の姿を大胆に描き、官民による集中投資、制度改革・インフラ整備を一体的に推進。**
- 各省の協力を得つつ、来春に向けて「**新市場創造プラン**」(仮称)を策定する。

イノベーションと需要の好循環を創出

- 新たな投資や消費を生み出し、内需創出につなげる
- 日本が新たな市場を創出し、世界経済のパラダイム転換を牽引

<検討イメージ1> 「電池」を最大限活用した低炭素革命の実現

- 世界人口増加の中、世界全体で2050年までにCO₂半減と豊かな生活を両立する新たな経済社会システム構築。
- CO₂排出ゼロ発電実現(太陽光発電)、電気を「貯蔵」できる電池の活用による「電気」利用の抜本拡大を組合せ。
 - 民生・運輸部門のCO₂排出抜本削減。
 - 電気自動車等の実用化・導入を促進。

目指すべき将来像

CO₂排出ゼロ + 電気を「貯蔵」(電池) + 電気自動車の本格導入

- 家庭、オフィス、高速道路、学校、病院などあらゆる場所で太陽光発電と蓄電池(低炭素社会における「産業のコメ」)の組合せ。
- 家庭で太陽光発電し、電気自動車等に貯蔵、売電。充電設備も普及。
- 駐車場にある電気自動車等を震災時などバックアップ電源に活用。
- 日本は部品技術を強みとし、世界をリード。“Japan Inside”戦略



民生・運輸部門のCO₂排出抜本削減

実現に向けた主な対応策

- ・太陽光発電と蓄電池などの技術開発
- ・電気自動車導入促進の制度や道路規制など整備
- ・電気自動車の新エネ電気の取引が可能な制度整備
- ・給電設備などインフラの整備
- ・規格の標準化、世界標準獲得
- ・レアメタル確保・代替材料開発

＜検討イメージ2＞農林水産業等と地域経済の活性化

- 農林水産業は食品産業を含め、裾野の広い地域の基幹産業。地域ブランドの主役、日本文化の象徴。
- 「農商工連携」の新たな取組に挑戦する農林漁業者・商工業者が、次世代の地域リーダーとして飛躍。異業種の知恵・ノウハウ・経営力を結集し、農林水産業の多様化・活性化に貢献、地域経済を活性化。

目指すべき将来像

食料輸出大国の実現



若者の雇用を生み出す
地域発の戦略産業を確立



地域住民が誇りを持てる
文化・魅力を創出

- 「日本食」と「メイドインジャパン」の魅力、トレーサビリティ確立による「安全・安心」を世界へ。
- 世界屈指の生産性、企業的経営のできる多様な経営主体、多層的流通システムにより、地域の若者を世界で活躍する1億円プレーヤーへ。

実現に向けた主な対応策

地域一体となった農商工連携の推進

- ・ワンストップ支援センター設置（総力結集）、農商工連携地域づくりの「核」に→次々と新たな取組を創出。
- ・コーディネーター育成。応援キャラバンによる現場目線の普及PRを強化。

植物工場の有効活用

- ・中山間地域の耕作放棄地、商店街空店舗、遊休工場・倉庫・オフィスビル等を有効活用。
- ・農家の所得向上や雇用創出に貢献。農商工連携によるイノベーション。

<検討イメージ3> Japanブランド戦略 —プロジェクトJ—

- 映像コンテンツ、アニメ・マンガ、日本食、ファッション、伝統芸能などのソフトパワーは、**日本のブランド価値<Japanブランド>創造の強力な武器。**
※裏原宿ファッション、アニメソングなど、**我が国ソフトパワーは海外で評価。**
- 経済力だけでなく、文化と経済を一体化した、**Japanブランドとしての強力な発信が必要。**

目指すべき将来像

『 cool Japan 』 — 日本を世界のトレンド発信の拠点に —

パリ・ミラノに並べ！
東京を世界的モード・トレンド発信拠点に。

ソフトパワーで世界へ！
映像コンテンツ・日本食・ファッションは日本のパワーの源。

日本流！
日本文化・様式で世界を豊かに。



**日本の商品・サービスの
ブランド力向上
コンテンツ産業を20兆円産業に**

実現に向けた主な対応策

トレンド発信力の抜本強化

- ・JAPAN国際コンテンツフェスティバルを総合的なトレンド発信イベントへと脱皮。

世界ブランド戦略の推進

- ・官民合同の『Japanブランド戦略推進委員会』を設置。

トレンド確立に向けた環境整備

- ・コンテンツへの投資促進
- ・原産地・特産表示等に関する認証制度の充実・強化
- ・「日本ブランド大賞」創設

日本文化・様式の発信強化

- ・トラベルマーケット整備など

<検討イメージ4> 明るく安心な高齢化社会の実現

- 2020年の65歳以上人口3500万人(1.5倍)。
- 医師の絶対数不足(日本約2人、OECD約3人/千人)。
- 直近の要介護認定者数441万人。
- 直近の医療費33.1兆円、介護費7.4兆円(0.5兆円ペースで増加)。

目指すべき将来像

高齢者が、希望を持ち、安心できる明るい社会の実現

ガンなど不治の病をなくす + 病の芽を摘み取る + 要介護者の自立を支援

○大きく成長する医療・介護分野！

(市場規模2007年：41兆円 →2025年：90兆円超、
従事者2007年：385万人→2025年約650万人)

○要介護者の自立を支援！

→介護人材の質量確保、生活支援ロボット

○安心できる長寿ライフ、病気の予防を！

→健康状態「見える化」

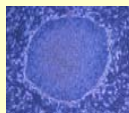
○今まで治療が困難な病も克服！

→最先端医療の実用化

実現に向けた主な対応策

最先端医療の進展

・iPS細胞など、再生医療(骨、血管、肝臓等)



iPS細胞

・ガン診断・治療のための革新的医薬品・医療機器

→医師・産業界連携臨床研究、保険診療併用、薬事審査迅速化など

健康増進サービスの充実

・ITを活用した独居高齢者遠隔見守りサービス

・病院と介護施設等の情報共有・連携

→個人情報保護、責任明確化など運用ルール確立

介護サービスの充実

・生活支援ロボットの開発・普及

→規制明確化、研究開発、安全基準設定、保険給付拡大など



歩行アシストスーツ

地域医療の再生

・機能分担・連携を行う計画の策定・実行支援

・ITによる救急医療体制整備、医療従事者充実